

釣具 買取りマニュアル

釣りの基礎知識

「釣具」はヤフオクでも人気のカテゴリー。

「釣り」と一言でいってもその歴史は古く、多種多様な釣りが存在します。
また釣りのスタイルにも流行があり、道具はどんどん進化しています。
しかし、10年以上前の古い道具でも中古としての価値が残るものも多くありますし、
30年以上前の道具はビンテージ品としてプレミア価格で取引される物もあります。

「釣り」を大きく分類分けすると、淡水(Fresh water)と海(Salt water)に分かれます。
また、釣り方では、ルアー・フライフィッシング(疑似餌を使った釣り)と餌釣りに分かれます。

ルアーフィッシングの「道具/釣り具」を総称して「タックル」と言います。

皆さんが釣具の査定をするときに参考にするベリーネットは、「タックルベリー」という
中古釣具専門店のホームページですがハックルベリーと釣具のタックルをかけた造語を
社名にしたそうです。

そのベリーネットですが価格が高いため、**ベリーネット**とあわせて**オークファン**で価格を
調整したほうが間違いがありません。

釣具は人気ジャンルなので登録しなくてもあらかじめの商品はオークファンで確認できます。

ベリーネット <http://b-net.tackleberry.co.jp/ec/index.cfm>

オークファン <http://aucfan.com/search3/>

釣りのカテゴリー

●淡水の釣り(湖、川、溪流、管理釣場)

・バスフィッシング(湖・川)・・・ルアーフィッシングが主体。ルアーの種類、メーカーが最も多くメジャー。

・トラウト(湖・川) ——— ルアーフィッシング・・・放流魚やネイティブトラウトをミノ、スプーンで狙う。
(鱒類:主にニジマス) ——— フライフィッシング・・・放流魚やネイティブトラウトをフライで狙う。

・エリアトラウト(管理釣場)・・・放流魚をルアーやフライで釣る。若者を中心に人気。大会も多い。

・鮎 友釣り・コロガシ(川)・・・6～9月限定の釣り。日本独自の釣方で比較的年齢層が高い。

・ヘラ(湖・管理釣場)・・・ヘラぶな釣りのこと。餌釣り。道具の価格がピンキリ。比較的年齢層が高い。

・ワカサギ(湖)・・・9月～3月がメイン。主にドーム船などの船釣りが多いが氷に穴をあける穴釣りも。

・溪流 ——— ルアーフィッシング・・・主にヤマメ・岩魚をミノ、スプーンで狙う。
——— フライフィッシング・・・主にヤマメ・岩魚をフライで狙う。
——— 餌釣り・・・主にヤマメ・岩魚を専用竿で釣る。溪流では最もメジャーな釣り。
——— テンカラ・・・毛鉤を使う日本伝統の釣り。

・鯉/コイ(湖・川)・・・餌釣り。かなりマニアックな釣り。なぜか怖いオヤジやヤクザに人気の釣り。笑

●海の釣り

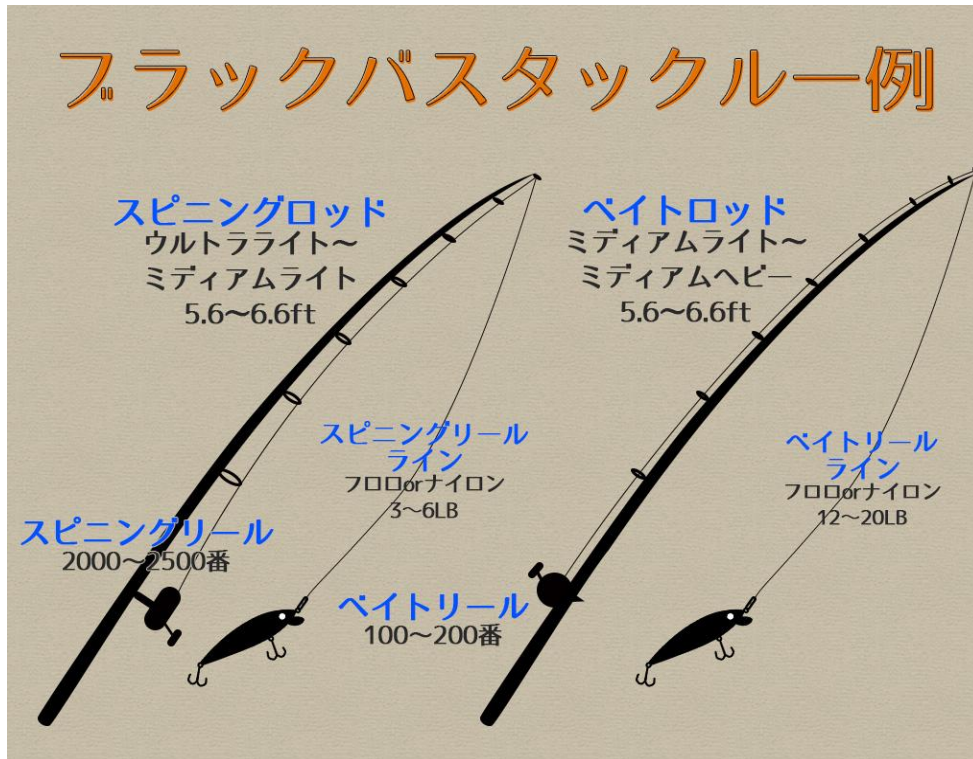
・シーバス・・・(ボート・おかつぱり・ウェーディング)主にルアーフィッシング。人気でファンが多い。

・船釣り(遊漁船) ——— 餌釣り・・・船釣りでは最もメジャー。対象魚に合わせた専用竿が多くある。
——— ルアーキャストイング・・・マグロ、シイラ、ブリ、ワラサ、ヒラマサ、サラワなど。
——— ジギング・・・メタルジグで主に30m～200mのフィッシュイーターを釣る。

・海のおかつぱり ——— 餌釣り・・・防波堤や磯、サーフ(砂浜)
——— ルアーキャストイング・・・エギング、ヒラメ、シーバス、メバル、アジングなど。

一般的な道具のカテゴリ

スピニングリール	軽い仕掛けを遠くへ投げられるリール。初心者から上級者まで使いやすい。
ベイトリール	少し重いルアーをキャストできる。主にバスのルアー用。中級者以上向き。
電動・両軸リール	海の船釣り用リール。
ソルトロッド	主にスピニングリールをつけてルアーやジギングに使う。
バスロッド	バスフィッシングに特化したロッド。スピニングまたはベイトリールを付けてルアーを投げる。
ルアー万能ロッド	バスから海まで幅広く使えるルアー釣り用万能ロッド。
トラウトロッド	トラウト(鱒類)用のルアーロッド。湖用、河川用、渓流用、管理釣り場用がある。
船 竿	海の 船 餌釣り用の竿。「船50-300、ワラサ270、カワハギ180」などの名前と竿の長さ等がモデル名。
磯 竿	磯からメジナなどを釣る竿。1から5まで竿の硬さの表記がある。1-530、3-450、5-630など後の表記は長さを表す。
投 竿	サーフ(砂浜)からシロギスを釣る投げ竿。3ピース(3継ぎ)で4m前後の竿が主。
鮎 竿	鮎釣り専用竿。9m前後の振り出し竿。25,000円くらいから20万円くらいする。高いものは50万円くらいの物もある。
渓流竿	主にヤマメ・岩魚を餌で釣る竿。3.6m～6.3mくらいが主流。金額も数千円から10万円くらいまでと幅広い。
へら竿	へらブナ釣り専用の竿。振り出しの物は安く、並継ぎはピンキリ。長さは尺で表記されるものが多い。
鯉	5万円くらいする物もあるが極端に需要が少ないため、安く売る。
万能竿(のべ竿)	一般的なファミリーフィッシング竿。渓流竿に似ているがしまい寸法が長く、安価。
ウェア	フィッシングベスト、釣り用の防寒着、ウェーダーなど。
偏光グラス	サングラスに似ているが水面の光の反射を防ぎ、水の中がよく見える。
バッグ	釣り用バッグ。用途別に餌用やルアー用がある。また竿ケースもある。
クーラー	クーラーボックスのこと。主に海の船釣りでキャンプ用と比べ保冷力が非常に高い。価格も2～5万円くらいする。
ライン	釣り糸のこと。用途に合わせナイロンライン、フロロライン、PEラインなどがある。
ルアー用品	疑似餌のこと。バスから海釣りまで範囲が広い。1000円～2000円くらいが主。
船用品	ラークなどのロッドキーパー(竿受)やビシ、電動リール用バッテリーなど
磯・防波堤・投用品	磯用バケツ、ヒシャク、ピトン、サーフ用竿スタンドなど。
鮎・渓流用品	専用仕掛け、糸、シューズなど。
ワカサギ用品	ワカサギ用電動リール、穂先など。
へら用品	へらバッグ、竿ケース、へらテント、パラソルなど。
その他	餌つり用の仕掛けなど。



ルアー釣りの中で一番人気のあるのがバスフィッシングです。
ロッドもリールも種類が豊富で、ルアーを含め中古市場も一番人気です。

エリートラウト、溪流ルアー、シーバスなどのルアーフィッシングは基本的に
スピニングタックルを使うことが多いです。

ベイトタックルを使うのはバス、ナマズ、雷魚など、1/2oz(14g)以上のルアーを
使うものに多いです。

アメリカ発信の釣リスタイルの為、下記のように表記されます。

- ・ロッド(竿)の長さ:ft(フィート) 1ft=30.4cm
- ・ロッドのアクション/硬さ:UL(ウルトラライト)、L(ライト)、ML(ミディアムライト)
M(ミディアム)、MH(ミディアムヘビー)、H(ヘビー)
- ・ライン(釣糸)の釣力:lb(ポンド)
- ・ルアーの重さ:oz(オンス) 1oz=28g

へら竿



この模様がへら竿の特徴というくらい、一般的な模様です。

画像の竿は「並継ぎ」ですが振り出しタイプの物は比較的安価です。

振り出しタイプなら300円～500円くらいの売価でいいと思います。

並継ぎタイプは本格的なへら専用竿で価格もピンキリですので一応ネットで価格を調べてみてください。

へら竿の長さは主に尺で表記されており、
7尺(2.1m)～21尺(6.3m)くらいまであります。

※画像は21尺(6.3m)です。

※1尺は30cmです。



買取り時の確認ポイント

振り出しタイプ

まず、穂先からゆっくり竿を出していきます。

- 1、竿先にリリアンのような紐があるか
- 2、各竿の口部分に割れなどがないか。
- 3、各竿の全体にクラック(亀裂)などがないか。



並継ぎタイプ

確認箇所は振り出しと同じですが
並継ぎタイプは継ぎ目の差込み具合が
ゆるくないか、確認してください。

和竿(本竹竿)

一般的にはカーボン製ですが
本物の竹で造ったへら竿もあります。
管理が難しく手入れをしないと
反ってしまうので一般的ではありません。
また、高額なものが多く工芸品に近い
扱いですのであまり追わないようにします。

作者の名前があるもので売価1万円が
MAXくらい、買取りは安く。
使う人も少なく、店では売りにくいです。



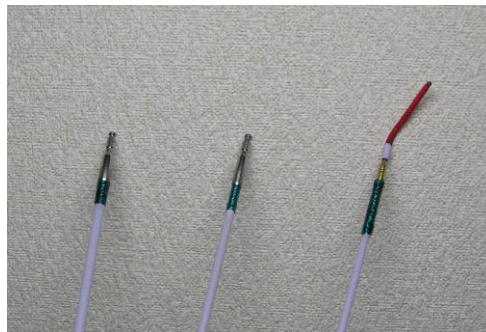
溪流竿



ルアーロッドとは異なり、ガイドが付かない、のべ竿です。
淡水用の万能竿と似ていますが溪流を持って歩くため仕舞寸法が40～60cmと短めになります。
全長は3.6m～6.3mくらいで4.5mと5.4mが主流です。
よく売れるのも4.5mと5.4mです。

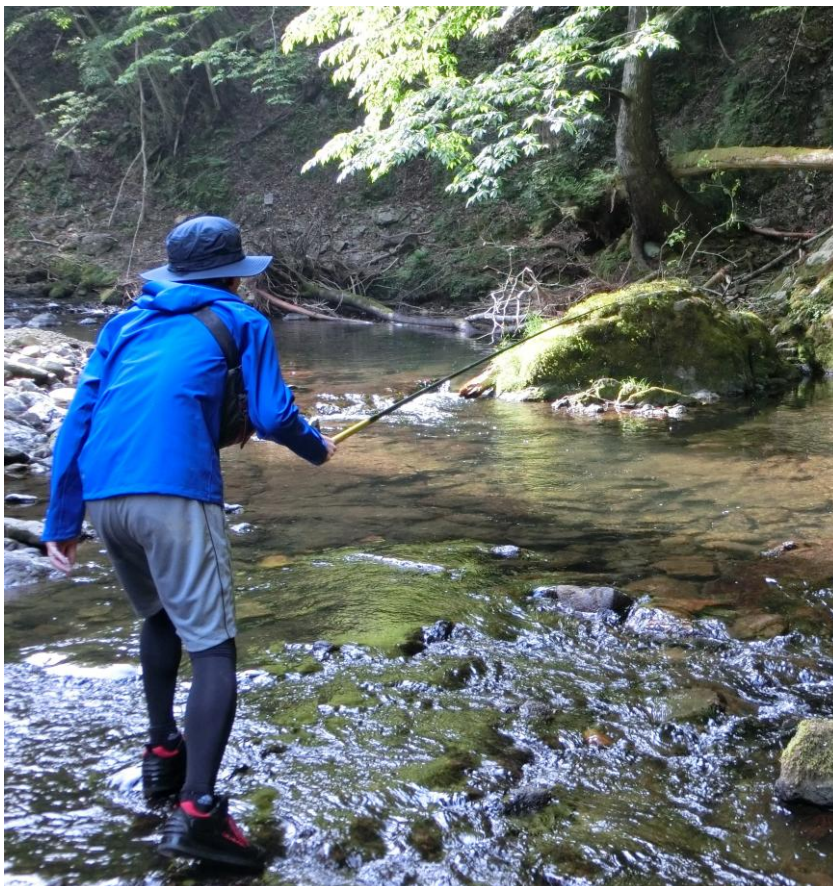
買取り時の確認ポイント

確認手順はへら竿と同様です。
穂先のリリアンがあるか。
(回転する金属製の物や金属にリリアンが付いたものもあります。)



～豆知識～

仕舞寸法(縮めた状態)が短くて5mを超えるロッドは製法が難しくハイスペック(高価)な竿です。



磯竿



比較的良好に入ってくるのがこの磯竿です。
防波堤の釣りや磯場、砂浜と用途が広く海用万能竿です。
00、0、1～5番まで竿の硬さ(強さ)で分類されます。
番手の表記は下記ようになります。

基本00、0番は高価なロッドにしかありません。

例) 1-530、1.5-530、2-530、2-630、3-450など
1(硬さ)-5.3(長さ)



買取り時の確認箇所

確認ポイント

リールのライン(糸)を通すガイドがありますがガイドが割れていないか
また、トップガイドがあるか、補修して短くなっていないかをチェックします。
海で使用するため、ガイドやリールシートの金具が錆びているものが
多いので注意が必要です。

磯竿もピンキリですが比較的高価な
物は画像のようなハードカバーが
付属品でつきます。

高価な磯竿の主なメーカー
ダイワ、シマノ、ガマカツ、NFT
ダイコーなど。



鮎(アユ)竿



6月から9月の季節限定の日本伝統の釣りです。
道具が高価で少し敷居が高いイメージの為、年齢層が高めです。

竿は友釣り用とコロガシ用に分かれます。
友釣り用は主に9～10mくらい、**コロガシ用**は7.2mが主流です。

友釣り用の竿は3万円から15万円くらい、高いものは50万円位しますが
2年以上経っているものは余程、状態がよくなければ定価10万の竿でも
1～2万円売価くらいでないと売れません。

コロガシ用の竿は比較的安めですので 2,000円～5,000円 売価 で
良いと思います。

買取り時の確認ポイント

川の石の上に置く人も多いのでキズが入りやすいです。
カーボンが非常に薄く作ってあるので折れやすくなりますので傷をよく
見てください。
また、口の部分の割れ(口割れ)を確認してください。



高価な磯竿の主なメーカー

ダイワ、シマノ、ガマカツ、サンテック、シモツケなど

生産終了メーカー

オリムピック、リョービ、NFTなど

特にガマカツ(がま鮎)は、一目でわかる特徴的なカラーで安売りをしないことから人気があります。



黒と赤の特徴的なカラーで名称は「がま鮎」

鮎の友釣り



スピニングリール



ルアーフィッシングはもちろん、仕掛けを遠くへ飛ばす釣りに必要不可欠なのがこのスピニングリールです。ルアーフィッシングでは軽めのルアーをキャストするのに向いています。

品物はピンキリで、新品で1,000円くらいから10万円を超える物まであります。

主なメーカーとしてはダイワ、シマノが圧倒的です。
他にはアブガルシア、メガバス(ダイワのOEM)があります。
安いものは無メーカーのものがほとんどです。
[無メーカー品は売価300円から500円で良いと思います。](#)

スピニングリールの各名称



買取り時の確認ポイント

1、まずはリールを上の写真のように、リールフットが上になるようにしてリールフットを持ち、ゆっくりとハンドルを回します。
このとき、**スムーズに回転するか確認してください。**
回転が重かったり、ガリガリ感やシャリシャリ感があるような場合はOH(オーバーホール)が必要になりますので、かなり安く買うか、お返ししてください。

2、次に**スプールのエッジにキズが無い**か確認します。
キズがあるとライン(糸)トラブルのもとになるので、必ず確認してください。

特にエアトラウト用などで使う**1000~2000番台のリールは、ここのキズが致命傷です。** ヤフオクなどでも「スプールエッジにキズがありませんか？」と必ず質問されるくらい重要なポイントとなります。



全体的にキズの多いものは安く買い取ってください。

3、次に手でスプールを廻してドラグチェックをします。
ドラグノブを締めてスプールの回転が重くなるか確認してください。



4、ストップスイッチのあるリールはツマミを倒してハンドルが逆回転するか確認してください。どちらに倒してもハンドルが逆回転してしまうのはリールの故障です。



主なスピニングリール

【ダイワ】 イグジスト、セルテート、ルビナス、セオリー、カルディア、EM MS、フリース

【シマノ】 ステラ、ツインパワー、ヴァンキッシュ、エクスセンス、ストラディック、バイオマスター

下記の画像左のようなハンドルノブのタイプは1997年以前の古いモデルです。
ツインパワーであっても1500円くらいの売価じゃないと売れません。



↑
1997年以前の古いモデル
(ウツの樽型)

↑
1998年以降くらいからは、こんな形の
ラバー製ハンドルノブになります

シマノのステラは特に人気が高く、古いモデルでもマレーシアやタイで高額で取引されているようです。

ステラは1992年から3年置きに新しいモデルが出ていましたが2010年以降は4年置きになりました。

- ・'92ステラ(初代)
- ・'95ステラ
- ・'98ステラ
- ・'00ステラ(ミレニアムステラ) 限定販売モデル
- ・'01ステラ(FW/AR)
- ・'04ステラ
- ・'07ステラ
- ・'10ステラ
- ・'14ステラ

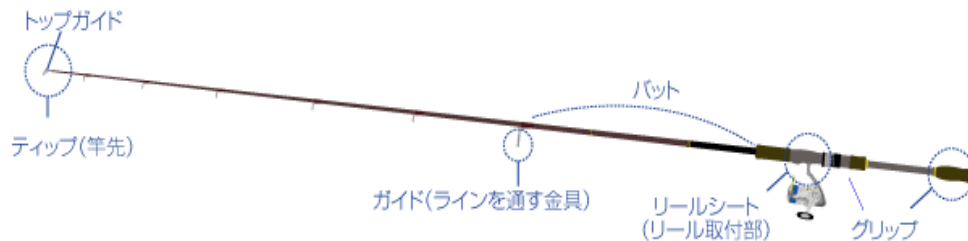
その他のモデル

オフショアモデル

- ・'01ステラSW(ソルトウォーター)
- ・'08ステラSW(ソルトウォーター)
- ・'13ステラSW(ソルトウォーター)

ルアーロッド

ロッドの各名称



買取り時の確認ポイント

1、ロッド(竿)が1ピース(1本物)か2ピース以上(2本以上に分かれる物)かを確認する。

2、**1ピースの場合**はまず全長(竿先からグリップエンドまでの長さ)を表記と合っているかと確認する。(特に1万円を超えるロッドは必ず確認してください。)

※竿先が折れていないか、補修されていないかのチェックの為です。

竿先が折れて補修された物は表記より短くなっています。

竿先のチェックの仕方



正常なトップガイド



竿先が折れて、2番ガイドが先端に付いた状態になっている

※ガイドは補修ができるため折れたところからトップガイドを付け直している場合がありますので、全長を測り確認します。

ロッドの長さの表記が無い場合は、型番から推測できます。

60MLや601MLの場合は6フィート(6'0")のミディアムライトの意味を持ちます。

例) AB-66L、CD-70H ※6'6"L(ライトアクション) 7'0"H(ヘビーアクション)

6フィート(6'0")=約183cm となります。

※フィート換算表は次のページにありますので参考にしてください。

2ピース以上の場合

2ピース(2本継ぎ)以上の場合は比較的簡単にチェックできる方法があります。

最終的には全長を測る方が間違いありませんが、補修などにより短くなっているかの判断は、2ピースの場合は1本目と2本目を、2ピース以上の場合は全てのパーツを平行に並べます。基本 パーツは、同じ長さになるので、1本目だけが数cm短い場合はティップ(竿先)を補修している可能性が高いと言えます。

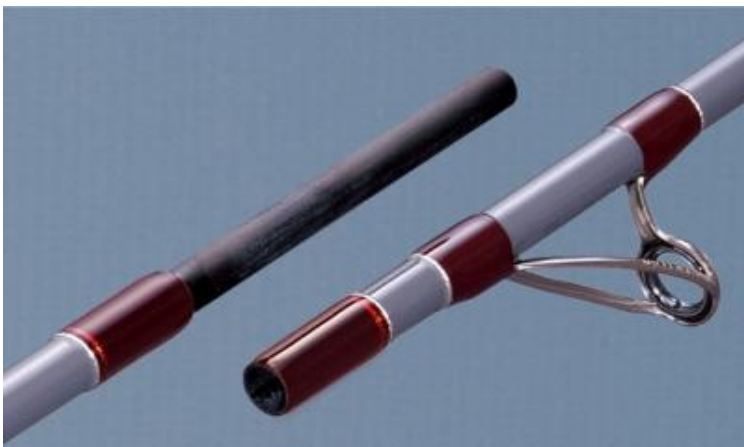


この様に全てのパーツの
長さが基本的に揃います。

バットジョイントモデル以外は
綺麗に長さが揃います。

高額なロッドほどピッタリと揃うが
安価な物は少し長さが異なります。

ジョイント(継目)部分を印籠継ぎ(インロウツギ)と呼ばれる製法で作られている物は比較的高価なものが多いので、安価なロッドと見極める1つのポイントです。



※製法にコストがかかるため、ハイスペックな竿に採用されている。
安価なロッドは印籠継ぎの黒い棒がなく、直接かぶせるタイプの並継ぎになる。

3、各ガイドの曲がり、リングの欠けがないか、ブランクスにキズがないか確認する



※ブランクスに深めのキズがあると折れ、破損の原因になります。

特にロッド上部の細い部分は危険です。

高価なロッドは買取りしないほうが無難です。

ガイドの破損等は修理可能ですが商品としては難しいので、ジャンク扱いで安く買取りしてください。



4、グリップ及びリールシートを確認する。



ルアーフィッシングはもともと舶来の釣りの為、
ルアーロッドの長さ(全長)をft(フィート)、
使用できるライン(釣糸)の強さ/太さをlb(ポンド)
使用できるルアーの重さをoz(オンス)で表記されています。

1ft(フィート)は30.4cm です。

フィート	センチ	フィート	センチ
5'5"	165	7'2"	218
5'6"	167	7'4"	224
5'7"	170	7'6"	229
5'8"	172	7'8"	234
5'9"	175	7'10"	239
5'10"	178	7'11"	241
5'11"	180	8'0"	244
6'0"	183	8'2"	249
6'1"	185	8'4"	254
6'2"	188	8'6"	259
6'3"	190	8'8"	264
6'4"	193	8'10"	269
6'5"	196	9'0"	274
6'6"	198	9'2"	279
6'7"	201	9'4"	284
6'8"	203	9'6"	290
6'9"	206	9'8"	295
6'10"	208	9'10"	300
6'11"	211	10'0"	305
7'0"	213	10'2"	310

ft(フィート)からcmに換算

<http://www.metric-conversions.org/ja/length/feet-to-meters.htm>

船竿



一くりに船竿といってもそれぞれ、魚種、釣りに応じて専用の竿があります。しかし、現状のオフハウスに入荷してくる船竿の大半は、広く使える比較的安価な五目釣りの竿で、ハイスペックな専用竿は、どの店舗をみてもありませんでした。

やはり、専用竿を買取りできないと単価が上がります。今、人気のある専用竿は、カワハギ用で定番なのは真鯛用です。その他にも、太刀魚、テンヤ(真鯛テンヤ)、ヒラメ、マルイカ、フグなどの専用竿があります。

買取り時の確認ポイント

まずはその竿が何用の竿なのか、というところですが **専用竿には魚種名がモデル名になっていることが多いです。**

例)リーディング カワハギ175、Aブリッツ タチウオ M-195 など

逆に五目竿(いろいろな魚を釣る、船の万能竿といったところ)
レンタル竿は五目竿の安価なものが一般的です。

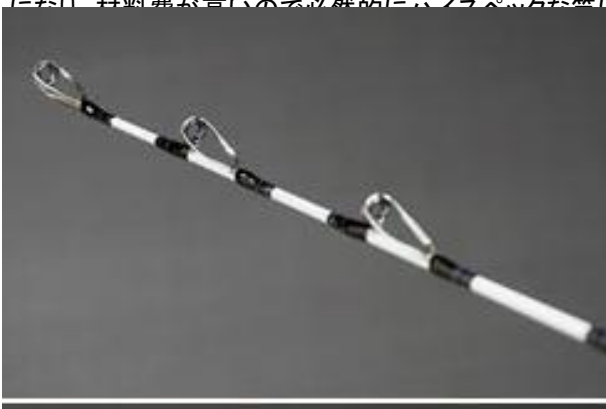
五目竿の場合は、**剣崎100-170とか潮流50-240、船30-270**など、海のポイント名や、海、船にちなんだモデル名が付いているものが多く、**名称の後の数字は基本の錘(オモリ負荷)と竿の長さ(cm)**をあらわしたモデル名になっています。

例) モデル名が「船30-270」だと30号(20-50号くらい)錘負荷の2.7mという意味です。

●ガイドがSiCならハイスペック竿！

ガイド(ガイドリング)には種類があり、高価なのか、安価物なのかを見分けるポイントの一つになります。(最大のポイントかもしれません。)

SiCリングのものであれば、ガイドフレームは、錆びにくいチタン製またはステンレス製になり、材料費が高いので必然的にハイスペックな竿に使われます。



SiCガイドリングはリングが黒光しています。
似た感じのガイドもありますがグレーや白のリングは安価ロッドや古い竿なので、そこで見分けてください。
(一般的にハードガイドといいます。)

ですのでSiCっぽかったら、一応ネットで値段を調べてみてください。



■LC～HBガイド(SiCリング)仕様。

SiC以外は1,500円以下の売価です。

～豆知識～

船釣りはPEラインという釣糸を使うのですが、PEラインに対応しているガイドがSiCとトルザイトだけなのでそれ以外のハードガイドがついた竿などは、今はゴミと同じレベルです。

※トルザイトは開発されたばかりでまだ普及していません。
2018年現在。

それから、インターラインというガイドが無いタイプの船竿がよく入ってきますがハードガイドの竿より、もっとゴミです。
20～25年くらい前に流行った竿ですが一瞬で終わったタイプの竿で、今では船で使っている人を見ません。



船釣りでPEラインが主流になり、竿の中を通るこのタイプは、仕掛けが落ちるのが遅い為、船宿によっては使用禁止になっています。
よく、オフハウスで2,000円くらいで売っているのを見ますが**売れません**。
買い取って販売しても良いですが500円売価で売れるかどうかです。
しかも、ラインを通すための付属品のワイヤーがほぼ欠品しています。
販売時は気をつけてください。

電動リール



船釣りにおいて様々な餌釣りに使われます。

電動リールは中古市場において、釣具の中でも郡を抜いた人気のアイテムです！
中古単価も5,000円から50,000円と高く、しっかりと買い取りができれば、本当に簡単に売れる商品です。

店舗販売はもちろん、ネットモールやECセンターでも良い商品となりますので是非、力を入れていきたいアイテムです。

電動リールは、ウインチのような大型のものから近年では手のひらに乗るようなサイズのモデルまで多種多様になってきています。
一般的には中型モデルから小型モデルが多く、ダイワとシマノがほとんどです。少し古いモデルだとリョービなどもありますが、今はダイワとシマノの独占上です。



買取り時の確認ポイント

1、電動リールにはバッテリーとつなぐ為の電源コードが必要になりますので買取り時は、必ず**本体＋電源コード**で買い取りしてください。

使い方がモデルにより異なりますので、説明書があれば尚、良いですがダイワ、シマノはホームページより説明書のダウンロードが可能なので最悪無くても大丈夫です。※あまり古いモデルはありません。

2、海で使うので潮錆びに注意が必要です。

外観の見た目が良くても内部が終わっている物もありますので、電源をつなぐ前に通常のリールを確認するように、クラッチを切ってラインを10mから20mくらい引き出してみます。このときにラインがスムーズに出るかチェックします。



ラインを出したら次はハンドルを廻してラインを巻き取ってみます。

この時、巻き感が重くないか、チェックします。

巻き取り感は異常な重さでなければ大丈夫です。

※ラインがスムーズに出ない場合は、内部の腐食も考えられますが、潮でラインがくっついている場合もあるので数回、同じチェックを行ってみましょう。

ここで問題なくラインが出れば次に電源ケーブルをバッテリーにつないでチェックに入ります。

3、本体に電源ケーブルを接続します。

次に、電源ケーブルをバッテリーに接続します。

(取り付けの時は＋から、取りはずす時は－から外しましょう。)

先ほどと同じくクラッチを切ってラインを10mから20mくらい引き出します。

※できれば高速リサイクラーなどのライン巻き器を使って100mくらい

ラインを出せれば、正確な動作確認が行えます。

高速リサイクラーの安価モデルだと3,000円以内で買えるので、できれば揃えておきたいアイテムです。



一定数ラインを出したら、レバースイッチを起こして電動でラインを巻いてみます。
この時、巻きスピードの変化(調整)ができるか、異音等はないかなどを確認します。

もし、ラインを巻いていない状態で持ち込まれた場合でも、ダイワの電動リールは
電源をつなげば、そのままスプールの回転動作のみチェック可能ですが
シマノの電動リールは、学習モードにしないと動作チェックができません。

シマノ 電動リール 糸巻き学習機能 & 取り説

http://fishing.shimano.co.jp/fishing_info/reel_learning/auto_reel/index.html

ダイワ 電動リール 入カマニュアル

http://www.daiwa.com/jp/fishing/support/a_service/reel/1194349_4388.html

～豆知識～

ダイワの電動リールは使用時間 巻き上げ距離を出せますので、買取り時に確認してください。 ※モードを数回押すと表示されます。



こんな感じです。

←

総使用距離:32km

総使用時間:33時間

ルアーフィッシングとは

疑似餌(ぎじえ)を使う釣り方。餌になる小魚やエビなどを模した物や対象魚の習性に合わせて、反射的に食いつかずにはいられない状況を作り出し、対象魚を釣り上げる釣法です。

その為、肉食魚や雑食魚であれば理屈の上では全て対象魚となります。日本で人気のある対象魚は、淡水ならサケ・マス類・ブラックバス・ライギョ・ナマズ・海水ならスズキ(シーバス)・マダイ・チヌ・アジ・メバル・カサゴ・シイラ・カツオ・ブリ・マグロ・ヒラメ・イカなど多数あります。



対象魚専用のルアーロッド(釣竿)と、狙いたい魚の大きさや動きの速さに合わせたサイズのリールを使い、投げたルアーをリールで巻くことによってアクションさせ、魚に食いつかせる事で釣り上げる事が出来ます。

ルアーロッド(ルアー釣り専用の釣竿)

大きく分けて、2種類あります。

スピニングロッド

スピニングリールを装着して使います。**リールを下にして利用します。**(右イラストの上)

ベイトロッド

ベイトリールを装着して使います。**リールを上にして利用します。**トリガーといわれる突起に指をかけて持ちます。

(右イラストの下)



先ほども記載しましたが、ここから対象魚・使用ルアーなどの用途に合わせた専用ロッドを使用する事がほとんどです。

以下、代表的なロッドの種類をご紹介します。

・バスロッド(ブラックバス用) ・トラウトロッド(イwana・ヤマメ・ニジマスなどのマス類用)
・エリアトラウトロッド(ルアー専用の釣り堀用。主なターゲットはニジマス)
・シーバスロッド(スズキ用) ・エギングロッド(イカ用) ・アジングロッド(アジ用) ・メバルロッド(メバル用)
・ショアジギングロッド(堤防や磯などの岸边からカンパチ・ヒラマサ・ブリなどの青物を狙う釣り用)
・ジギングロッド(船からカンパチ・ヒラマサ・ブリなどの回遊魚を狙う釣り用) ・タイラバロッド(マダイ用)

遠投したい場合は長いロッド、溪流などの障害物が多い場合は短いロッド、対象魚が小さい魚なら細いロッドというように、食いついてきた魚を釣り上げる事が出来るように役割分担させています。

ブラックバス用ルアー20種

様々な形のルアーが存在していますが、ロッド(釣竿)が専用の物を使用するように、ルアーも専用の物が存在します。

そして、種類がとても沢山あるのがブラックバス用ルアーです。大きく分けて20種類存在しており、それぞれに特性があります。店舗運営をしていて一番入荷が多いのがこのバス用ルアーになるので、ここを覚えれば、他の魚種用ルアーも判別がしやすくなります。頑張って覚えましょう！！

プラグ系		ミノー
		シャッド
		クランクベイト
		スイッシャー
		バイブレーション
		ビッグベイト
トップウォーター		ポッパー
		ペンシルベイト
		ノイジー
		フロッグ
ブレードベイト		スピナー
		スピナーベイト
		バスベイト
		チャターベイト
メタル系		スプーン
		メタルバイブ
		メタルジグ
		スピンテール
ソフトルアー系		ラバージグ
		ワーム

ルアーマニュアル

プラグ系

プラグ系ルアーはプラスチック樹脂を使って小魚を模したルアーです。ヘッドには潜る際に水を受けるリップというパーツが取り付けられていたり、水中で回転して強くアピールするプロペラというパーツがあったりします。また、ボディの中に金属の玉が内蔵され、飛距離アップやアピール音を出す効果を得たりします。

ミノー

	細いボディと短めのリップが特徴で、釣り場やシーズンを選ばず活躍。
	アクションが豊富で様々な使い方をします。

シャッド

	コンパクトなボディと長いリップが特徴。
	ブラックバスの活性が低い状況で効果を発揮する。

クランクベイト

	浮力のある特徴的なボディと様々な長さのリップがあります。
	リップの長さで潜る深さが変わり、一定の深さをキープして泳ぐ。

スイッシャー

	細長いボディと金属のプロペラが特徴で、独特の引き並や音で
	アピールをする。

バイブレーション

	リップやプロペラが無いので空気抵抗が少なく、遠投性能が高い。
	広範囲を探る時などに活躍する。

ビッグベイト

	150～200mmなどの大きいサイズが特徴でアピール力抜群。
	大物狙いやバスがいるかのサーチをする際にも利用出来ます。

ルアーマニュアル

トップウォーター系

トップウォーター系ルアーは樹脂や柔らかいプラスチックで、虫・小魚・帰るを模したルアーです。最大の特徴はその浮力で、水面に着水させてアクションをさせても沈まないことです。動かした際に発生する水しぶきや波紋をブラックバスは好み、水面下からルアーに襲い掛かるのが見えるので、人気の釣り方となっています。

ポッパー

	頭の先がぽこっと凹んでおり、アクションする際にはこのカップで水を
	捕まえることでしぶきや音を発生させます。

ペンシルバイト

	小魚を模していてパーツが少ないのが特徴。
	瀕死の小魚を水面で演出できます。

ノイジー

	金属の羽やカップ、リップが特徴で、大きな音や引き波を立てて
	アピールさせます。

フロッグ

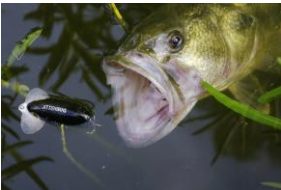
	柔らかいプラスチック素材でカエルを模した形状が特徴。
	ボディ内に針を隠しており、食いつくと飛び出る設計となっている。

フロッグ

ペンシルバイト

ポッパー

ノイジー



こんな大興奮な光景が目の前で見られます！！



ルアーマニュアル

ワイヤーベイト系

ワイヤーベイトは金属のワイヤーとブレードを使って小魚を演出させるルアーです。最大の特徴は金属のブレードで、水中で光を反射させるフラッシング効果を発揮し、広範囲のブラックバスにルアーの存在を気付かせる事ができます。

その為、ブレードの大きい物は強アピール、小さいものは弱アピールとなり、ブラックバスの警戒心を弱めます。

スピナー

	コンパクトなワイヤーと小さなブレードが特徴で、
	小型のブラックバスに有効。

※ブラックバスよりも、ニジマスやイwanaなどのマス類に使う事が多いルアーです。

スピナーベイト

	大きなワイヤーとブレードが特徴で、広範囲にアピール可能。
	レンジ(泳がせる深さ)も調節が可能。

バズベイト

	水面に飛び出すブレード状のプロペラが特徴で、
	音や水しぶきで表層を意識しているバスにアピールをする。

チャターベイト

	ヘッドに取り付けられた回転するブレードが特徴で、根掛かりしにくい。
	低活性時などに有効。

Question どれがバズベイト？どれがチャターベイト？スピナベは？



ルアーマニュアル

メタル系

メタル系は金属を使って小魚を模したルアーです。ボディに付けられたパーツが少ない事で空気抵抗を感じにくく、遠投性能が高くなっています。他ルアーと違い内部にも金属が使用されている為比重が重く、水中を落下するスピードも速いという特徴があります。水底まで落としてアクションさせたり、上げて→落とすという動きをさせて誘います。

スプーン

	金属の鉄板を使ったボディ。いわゆる「スプーンの前」みたいな形状。 ヒラヒラと落ちる不規則なフォールアクションでアピールをする。
---	---

※ブラックバスよりも、ニジマスやイwanaなどのマス類に使う事が多いルアーです。

メタルバイブ

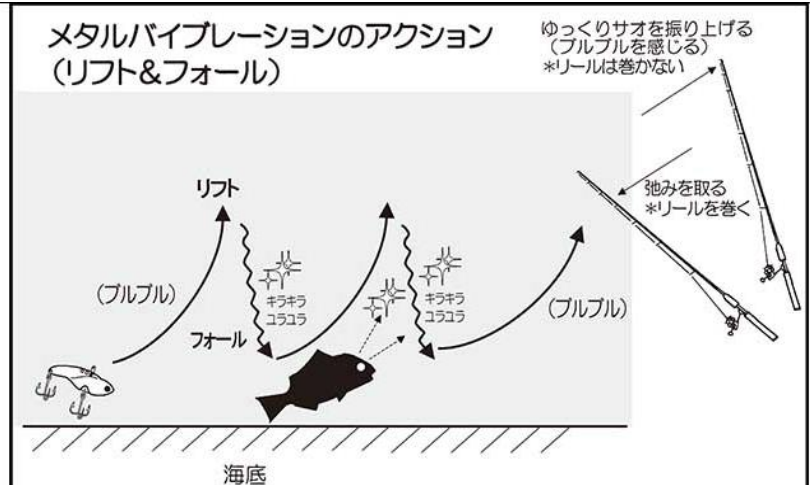
	ボディの全てを金属で作ったバイブレーション。遠投性能が高く、 メリハリの効いたアクションでアピールする。
---	--

メタルジグ

	コンパクトで細身の金属ボディが特徴。 ハードルアーの中で最も遠投性能が高い。
---	--

スピントールジグ

	メタルジグにコンパクトなブレードを取り付けたルアーで、遠投性能と アピール力を両立。小バスに効果的。
---	--



このようにアクションさせる事によって、魚を誘い出す釣り方を行います。

ルアーマニュアル

ソフト系ルアー

ここまで紹介してきたのは、ハードルアーという区分となります。ソフトルアーは、柔らかいプラスチックを使って小魚・虫・甲殻類をリアルに再現したルアーです。ハードルアーに比べて自然な動きでアピール出来る分、水押しが弱く、広い釣り場ではブラックバスに気付かれにくいです。フック(針)やシンカー(オモリ)などを組み合わせて釣りをします。

ラバージグ

	基本的に針部分にワームを取り付けて使います。(トレーラー)
	ソフトルアーの中ではアピール力が強くなります。

ワーム

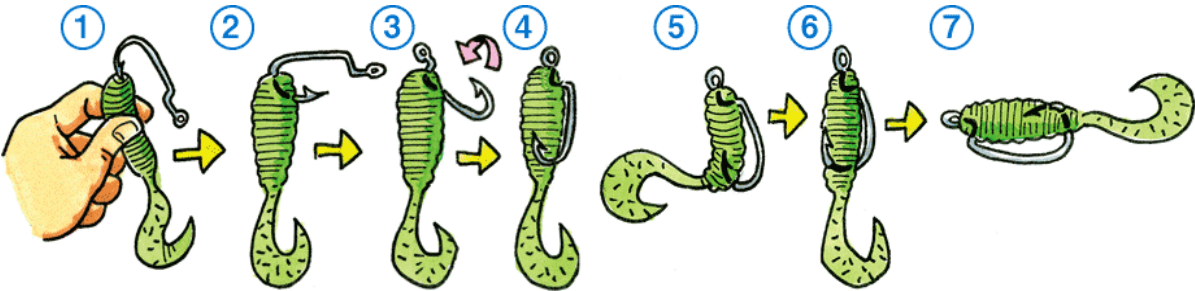
	フックやシンカーを組み合わせるソフトルアーで、
	警戒心の強いブラックバスに効果的。その形状も多岐に渡ります。

番外編 ポークルアー

	近年、環境保全からワームの使用が禁止とされている湖があります。
	ワームの代替えとして作られた豚皮を用いたルアーです。

ワームの使用が禁止されている湖・・・河口湖・西湖(山梨県)・芦ノ湖(神奈川県)

ワームへのフック取り付け例



シンカーの取り付け例



ジグヘッドリグ



スプリットショットリグ

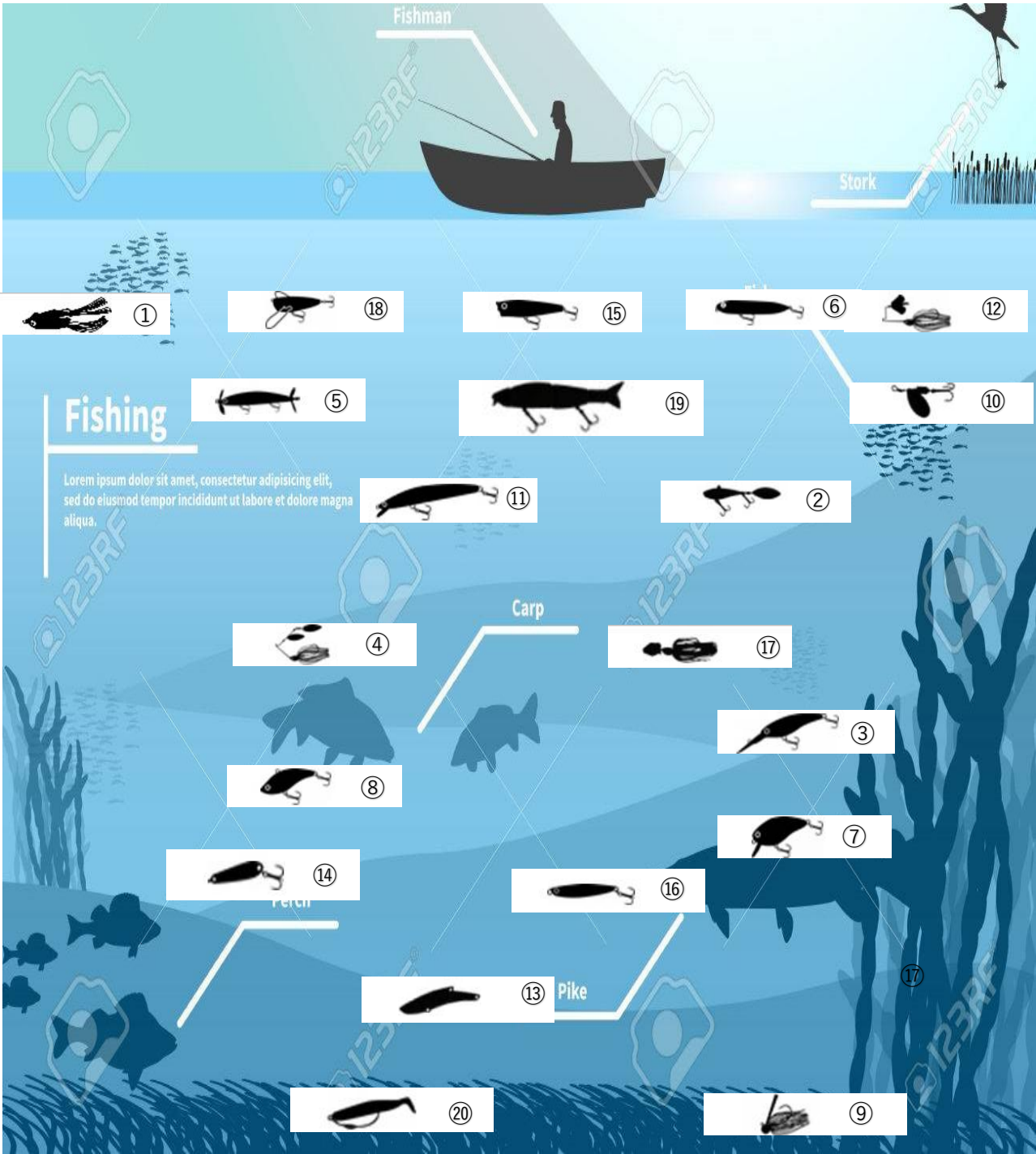


ノーシンカーリグ



ダウンショットリグ

ここまで紹介してきたルアー達は、トップウォーターなら表層、メタルバイブなら水底での使用が多いなど、使用する深さが決まっている事が殆どです。今回紹介した20種を分けるとこのようになります。



Question ①から②③までのルアー答えられるかな？

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ |
| ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ |

ルアーフィッシングあれこれ

ルアーフィッシングの歴史

ヨーロッパ発祥と思われがちですが、実はアメリカではじめられた釣り。1848年にボモゼン湖で父親と釣りをしていたジュリオ氏のボートが岩にぶつかり、持ってきていた食器のスプーンを湖に落とし、ヒラヒラと落ちていくスプーンにレイクトラウトが食いついた事にヒントを得ます。

ジュリオ氏は家に帰りスプーンの柄を切り落としフックを口ウ付けしてトローリングすると、面白いように釣れたそうです。

第一次バスブームと第二次バスブーム、生態系問題

1925年、実業家・赤星鉄馬氏がアメリカからブラックバスを輸入。神奈川県の芦ノ湖に87匹を放流したのがはじまり。その後1964年まではバスの生息分布はわずか5県に留まっていた。ところが1970年代に入り、第一次バスブームが発生。ブームに歩調を合わせるかのように生息域も拡大していき、1979年頃には40府県で確認されるまでになった。1985年、バス釣りのプロ達が大会に参加して賞金を稼ぐバスプロトーナメントが始まる。釣り具メーカーや企業が賞金や協賛金を出資し、イベントを展開。バス釣り熱が加速し、第二次バスブームへと繋がっていく。バブルが崩壊した後も人気不衰の事は無く、新発売のルアーを購入する為に店頭に並ぶ人が出る程の人気となった。

しかし、爆発的な分布拡大をしていた裏には、違法放流などがあり、1999年にはキャッチ&リリース禁止という事態になる。背景にあったのは、生態系への影響である。大きく分けて2種類のブラックバス。比較的水温が高く、流れのない水域・湖沼や下流の河川に侵入したオオクチバス、イワナやヤマメ、鮎などが生息する冷水域や流れのある水域に侵入したコクチバスは日本の淡水生態系上下流問わず侵入してきた。その為、在来種への影響が顕著となっていく。

釣りに関する数字(2021年時データ)

推定の釣り人口は約560万人

ルアーフィッシング人口は約340万人

釣り用品市場規模は、年間1830億円

18年~20年の推移と同程度と考えると、21年度のルアー関連は市場で1130億円程と予想される。

● 釣種別国内出荷市場の推移 (単位: 百万円)								
釣 種	2018		2019			2020(見込)		
	金 額	構成比	金 額	構成比	前年比	金 額	構成比	前年比
ルアーフィッシング	84,770	60.9%	86,049	61.6%	1.5%	91,082	61.1%	5.8%
バ ス	31,825	22.9%	31,566	22.6%	-0.8%	32,550	21.8%	3.1%
ソ ル ト	49,189	35.3%	50,652	36.3%	3.0%	54,100	36.3%	6.8%
ト ラ ウ ト 他	3,756	2.7%	3,831	2.7%	2.0%	4,432	3.0%	15.7%
フライフィッシング	1,797	1.3%	1,829	1.3%	1.8%	2,220	1.5%	21.4%
ルアー・フライ小計	86,567	62.2%	87,878	62.9%	1.5%	93,302	62.6%	6.2%
投 げ 釣 り	4,059	2.9%	4,076	2.9%	0.4%	4,291	2.9%	5.3%
磯 ・ 波 止 め 釣 り	20,440	14.7%	20,806	14.9%	1.8%	23,739	15.9%	14.1%
船 釣 り	16,340	11.7%	16,643	11.9%	1.9%	16,872	11.3%	1.4%
溪 流 釣 り	1,946	1.4%	1,828	1.3%	-6.1%	1,769	1.2%	-3.2%
ア ユ 釣 り	4,638	3.3%	4,046	2.9%	-12.8%	4,192	2.8%	3.6%
ヘ ラ ブ ナ 釣 り	4,390	3.2%	3,762	2.7%	-14.3%	3,946	2.6%	4.9%
そ の 他	800	0.6%	671	0.5%	-16.1%	1,019	0.7%	51.9%
合 計	139,180	100.0%	139,710	100.0%	0.4%	149,130	100.0%	6.7%

出典：「第24回 釣用品の国内需要動向調査報告書」一般社団法人 日本釣用品工業会 2021年1月

エリアトラウト（ルアー専用の釣り堀 管理釣り場を略して管釣りとも言う）

一人あたりのルアー保有個数が多い釣りに、エリアトラウトフィッシングというのがあります。ブラックバスでも登場したスプーンというルアーだけでも、重さ・大きさ・形状だけで数種類、それぞれで色違いを数個と揃えます。基本的に魚が目の前に沢山いる状況で、魚も人がいるプレッシャーに慣れているなか、どのようにして口を使わせるかを探る釣りです。

特徴として、バスルアーより小さめで、シングルバーブレスフックが取り付けられています。

シングルバーブレスフックとは・・・「かえし」が無い、1本のみの針

エリアトラウト用スプーン

以下の画像は、すべて1つのメーカーから販売されているスプーンです。微妙に形が違い、それぞれ泳がせた際のアピール力が異なります。また、KOKOROというスプーンだけでも重さが【0.7g/1.2g/1.6g/1.8g】と数種類販売されており、状況に応じて使い分ける事になります。



また、KOKOROのカラーバリエーションだけでこのように沢山あります。



カラーが25種類、重さが4種類あるので、KOKOROだけで100種類が発売されている事になります。

ローテーションと言って、その時の魚の活性に応じてルアーを使い分ける事で、釣果を上げていきます。

その為、「沢山持ち込まれたからお安くなります」という査定にはなりません。新品が500円前後なので、

中古でも1枚200～300円売価となります。

ルアーマニュアル

エリートラウト用プラグ

ブラックバス編で登場したプラグ系ルアーもエリートラウト専用の物が存在しています。特徴としては、ブラックバス用より小ぶりなサイズのもので、シングルバーブレスフックが取り付けられています。ミノー・クランクベイトなどがあります。



ボトム用ルアー

ブラックバス編にて、メタルバイブレーションのアクションを図解しました。このように水底にルアーを落としてから行う釣り方を「ボトムの釣り」と表現します。また、ゆっくりと水中を沈下させながら誘う釣り方もあり、こちらも専用ルアーがあります。変わった形をしていたり、針を別途取り付けるものなどもあるので、「針が無いから」と減額になるわけではありません。



NEW! BCR
ビークラッシュ

office
eucalyptus



- 喰わせ&集魚力に特化した形状で、初心者～エキスパートアングラーまで使いやすい最適な重量設定。
- 浮き上がりを抑え、ズル引き・デジ巻シェイク巻きなどアンラーの操作を忠実に再現出来るボトム専用スプーン

ボトムのズル引き & シェイクで圧倒的な威力！！

【#1 桃色監督】



表: 蛍光ピンク
裏: レッドグロウ

【#4 トロピカル】



表: だいだい色グロウ & 蛍光ピンク飛ばし
裏: 蛍光イエロー & 黄色グロウ

【#7 アラカブ】



表: 濃い赤茶 & 赤ラメ
裏: 濃い赤茶

【#2 枝豆監督】



表: エメラルドグリーン
裏: グリーングロウ

【#5 オリバー】



表: グリパに濃いグリーン飛ばし
裏: 濃いグリーン

【#8 えんまルーチェ】



表: 濃い茶 & グリーン
裏: 濃い茶

【#9 オリワラ】



表裏: オリーブ + 白飛ばし

【#3 チョコオリ】



ケイタ考案！喰わせカラー
薄茶ベースに濃い茶飛ばし

【#6 Tボールチョコ】



表: 濃い茶 + オレンジグロウ
裏: 濃い茶

【#10 森×2 悶々打破】



表裏: 赤茶ベレットカラー

他にも、初心者を連れていく事が多い釣りなので、「お助けルアー」というのが存在します。どれも変わった形状をしています。共通として「シングルバーブレスフック」が取り付けられています。

ネイティブフィールドのトラウトルアーフィッシング

鱒(マス)と言われる魚類で、サケ目サケ科に属する魚全体を刺して、「トラウト」と言います。代表的な対象魚としては、イワナ、ヤマメ、アマゴ、ニジマス、ブラウントラウト、イトウなどがいます。

フィッシングフィールドは源流・渓流域、本流域、湖となり、ウェーダーを着て、フィッシングベストを着用して行う釣りです。

警戒心がとても強い魚を相手にする為、河川に入る際も下流側から上流に向かって進むなど注意します。

トラウト用ルアー

ブラックバスと比較して、細目のロッドを使用します。溪流・源流域では短め、本流・湖では長めのロッドを使います。

使用するルアーはミノー、スピナー、スプーンの3種類が殆どです。

三ノ一



溪流では3cm～6cm程で重さも2.5g～6cm程と小ぶりの物が多い。

湖などでは倍程のサイズ。トゥイッチというアクションでアピールします。

スプーン



エリアトラウト用のものと比較しても大きい物が多いです。シングルフック

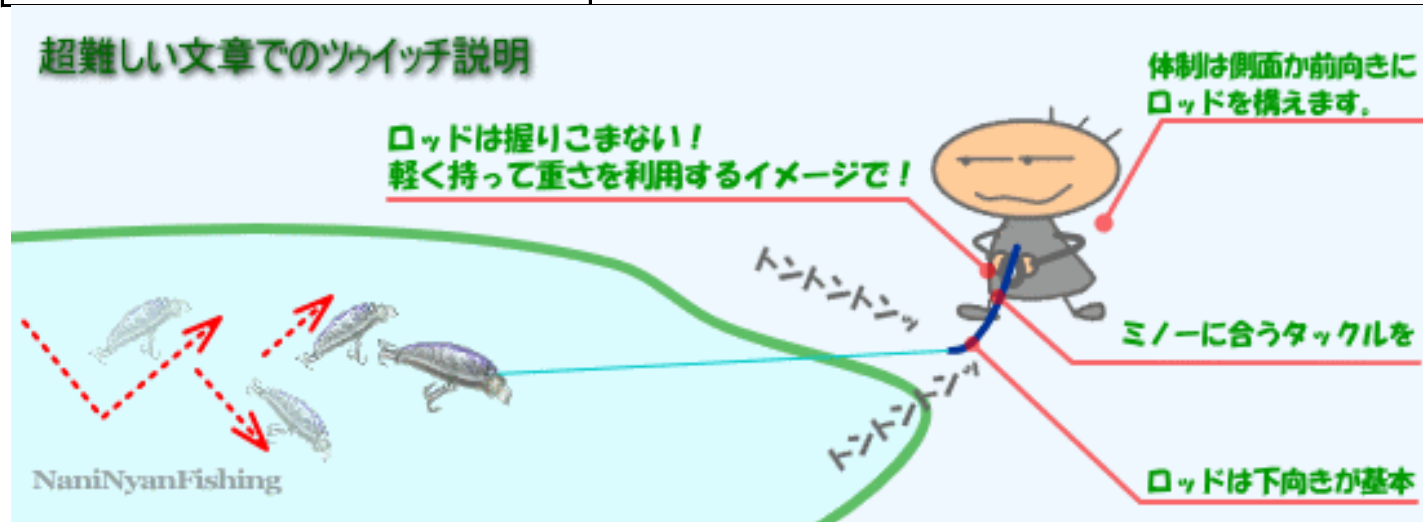
でも返しがついていたり、トリプルフックがついている場合が多い。

スピナー



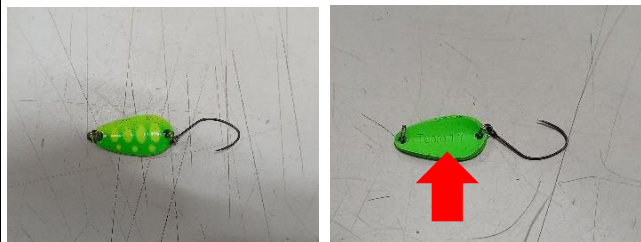
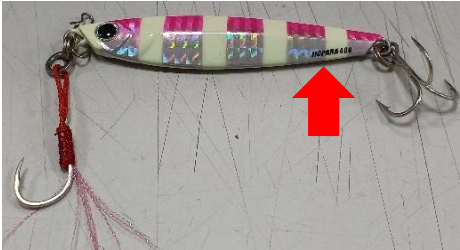
ただ巻きでも釣れる、初心者にもおススメのルアーです。

ブレードが回転する事でアピールをして魚を寄せてくれます。



食い気スイッチの入った魚が目の前までルアーを追ってくる光景はとてもエキサイティングです！！

ルアーを調べてみる！！

		記載内容	MEGABAS 3/4OZ YUKI ITO XPOD
		これをインターネットで検索すると・・・	
		メーカー	メガバス(Megabass)
		ルアー名	XPOD
対象釣り	ブラックバス	重さ	3/4oz (21g)
ルアー種別	トランスフォーメーションプラグ	定価	2200(税別)
特徴	6段階+αに調整可能なコマンドビル	中古相場	1300円前後
		記載内容	Tearo1.7
		これをインターネットで検索すると・・・	
		メーカー	TIMON
		ルアー名	ちびティアロ
対象釣り	エリアトラウト	重さ	1.7g
ルアー種別	エリアトラウト用スプーン	定価	416円
特徴	定番スプーンティアロのコンパクト仕様	中古相場	200円程
		記載内容	JIGPARA 40g
		これをインターネットで検索すると・・・	
		メーカー	MajorCraft
		ルアー名	ジグパラ
対象釣り	ショアジギング	重さ	40g
ルアー種別	メタルジグ	定価	オープン(実売700円前後)
特徴	ジョアジグの定番人気商品	中古相場	300円～400円

大体のイメージではありますが、いわゆるプラグ系ルアーは、新品価格が1000円～2000円程となっており、中古相場でも半値程で販売に繋がります。もちろん手に入りにくいなどの人気ルアーだと、定価の7掛けでも販売に繋がるかもしれません。また、フック(針)は釣り人なら普通交換する物ですので、「針がない」とか「錆びている」というのは売価に影響無くても問題ありません。

中にはオールドルアーと言われる、30年以上前のバスルアーが高値で取引されていたり、ハンドメイドミノーと言って、定価がそもそも4000円以上するような物もあるので、注意が必要です。

海でのルアーフィッシング

川や湖と違い海には多種多様な魚が混在しています。その中でもターゲットを絞って釣上げる事になります。大切なのは

①深度に合わせて使うルアーの種類を選ぶ

②タックルとのバランス まずはこの2点となります。



①深度に合わせて使うルアーの種類を選ぶ

海面～中面:「フローティングミノー」「トップウォータープラグ」

ここまで何度か出てきたミノーですが、大きく分けて「何もしないと浮いてくるフローティングミノー」と「何もしないと沈んでいくシンキングミノー」という2種類に分かれます。トップウォータープラグは、ブラックバス編でも登場したように、水面でアクションをさせる事によって魚に口を使わせます。表層を泳ぐシーバスや青物を釣るのに適しています。

中間～海底:「シンキングミノー」「メタルジグ」「バイブレーションプラグ」

いわゆる、自重で沈むルアーとなります。一度海底まで沈め、アクションさせた釣りを得意とします。ヒラメやマゴチといったフラットフィッシュから、シーバス、青物、サワラなどの魚を釣る事ができます。



遠投不要なら:ソフトルアー(ワーム)

自重が軽いので遠投には不向きですが、匂いなどの効果が付与されている為、ハードルアーでの食いが悪い時には重宝します。また、カサゴなどの根魚やアジ、メバルを狙う際にはよく利用されます。

②タックルとのバランス

手持ちのロッドには、適合可能なルアーの重さとライン(糸)の太さが必ず記載されています。例えば、7g-20gまでの重さに対応したロッドで40gのメタルジグを投げようとしても、ロッドが耐えられません。下手をすると折れてしまいます。逆に20g-40g対応のロッドで、5gのルアーを投げようとしても、竿が硬すぎて上手く飛ばせません。

また、「マッチザベイト」という言葉があり、ターゲットとする魚種が食しているであろうベイトフィッシュのサイズに合わせたルアーを投げる事が釣果に直結します。大きさが20cm程で口の弱い(脆い)アジを狙うのに、重さ30gで大きさが30cmのメタルジグは使わないといったイメージです。

リールにも「番手」というのが存在しており、対象魚や使用するルアーによって使用するリールのサイズが変わります。

例えば、アジを狙うのであれば1000～2000番のスピニングリール、シーバスなら3000番、ショアジギングであれば、3000～5000番というようになってきます。

エギング

エギングは、古来からある漁具の「餌木」を進化させ、主にアオリイカを狙うルアー

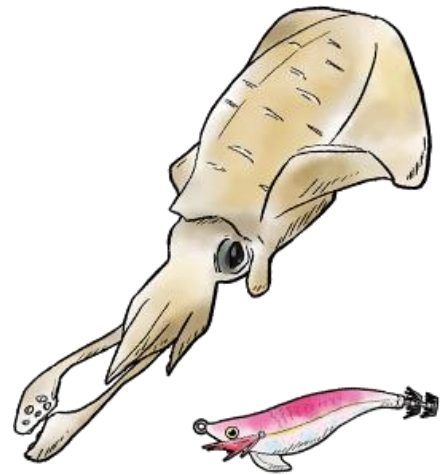
フィッシングとなります。ケンサキイカやコウイカも勿論釣れる事があります。

年間通して楽しむ事が出来、漁港や磯で釣果を得る事ができます。

ロッドをしゃくると水中でエギが跳ね上がったリダートという横跳びの動きを

します。止めると頭下がりですーツと沈んでいきます。これをフォールと言います。

イカはフォールするものを抱くという習性があるので、そこで釣り上げます。



エギは号数で表記される

左画像のように、2.5号や3.5号と言われるサイズがあります。エギング用のロッドを見ると、適合サイズがやはり号数で記載されています。

ということは、EGI:2.5-3.5などと表記されたロッドが入荷した場合は、エギングロッドという事になります。

アジング

ルアーを使用して堤防などでアジを釣り上げる事が出来ます。

3cm程の細いワームに、0.2g～3g程のジグヘッドと

言われるオモリと針が一体化した物を取り付けて使います。

他にも、2g以下の小ぶりのメタルジグを使う事もあります。

近い釣りで、メバルを狙うメバリングも人気です。

ロッドも細目で全体的に柔らかめの物が多く、使用するリールも番手が小さいもの(1000/2000)になります。



ショアジギング用メタルジグ

ショア(岸)からメタルジグを投げて行う釣りなので、「ショアジギング」と言います。小魚を捕食する魚であればどんな魚種でもターゲットとなり、使用するジグの重さでさらに3種類の呼び方へとわかれます。

ジャンル	ジグ重量	対象魚	特徴
ショアジギング	60g以上	青物、キハダ、カツオ、シイラなど	潮流が速い場所、深場、遠投が必要な場所、対象魚が大きい場合
ライトショアジギング(LSJ)	20g-60g	青物、サワラ、太刀魚など	一般的な堤防で手軽に出来る
スーパーライトショアジギング(SLJ)	20g以下	小型青物、アジ、サバ、根魚	小さなジグで小型魚をメインに狙う

重たいメタルジグをフルキャストし、青物の強烈な引きに耐えられるよう、ハイパワーかつ高強度に設計されたロッドを使います。勿論専用ロッドが存在しているので、使いたいジグの重さに合わせて用意します。

LSJの場合、シーバスロッドでも何とか代用が可能とは言われています。ただ、竿本体(ブランク)のパワーが違ったり、遠投が出来るようにガイド(糸を通す穴)が大口径に出来ており、アクションがしやすいようにグリップ(リールから下側)も長めに設計されています。



メタルジグの一例

ジギングルアー

ショアジギングに対して、船(オフショア)で行う釣りです。同じくジグを使用するのですが、ロッドは短くなります。

ちなみに、ジグも様々な大きさが存在しており

- ①セミロングジグ…万能タイプ
- ②ロングジグ…セミロングより細く長い形状。ベイトフィッシュの状況にて出番
- ③ショートジグ…セミロングより短く、厚みで重さを稼いでいるタイプ
- ④スロージグ…底狙い

と種類が分かります。さらに、ウエイトバランスや素材の変化もあり、用途に応じて使い分けます。

ルアーマニュアル

シーバス用ルアー

シーバスとは出世魚のスズキ(セイゴ・フッコ・ハクラ)の事で、河口域や堤防、サーフなど比較的どこでも狙える人気魚です。
特に河口などの汽水域は人気のポイントで、捕食している小魚を模したルアーで狙う事ができます。

ミノー

	フローティング・シンキングタイプで様々なレンジ(深さ)を狙える。
	形状・アクション共に小魚に似せられたルアー。

ペンシル

	ミノーよりも小さなアクションが出来る。フローティング・シンキングが
	あり、食い渋ったシーバスを狙う際に控えめなアクションが有効となる。

バイブレーションプラグ

	シンキングタイプ。リールを巻くだけでぶるぶると小刻みに振動して
	シーバスを誘う。ボディ内部にラトルという玉があり、音でも誘う。

メタルバイブ

	ボディの全てを金属で作ったバイブレーション。遠投性能が高く、
	メリハリの効いたアクションでアピールする。

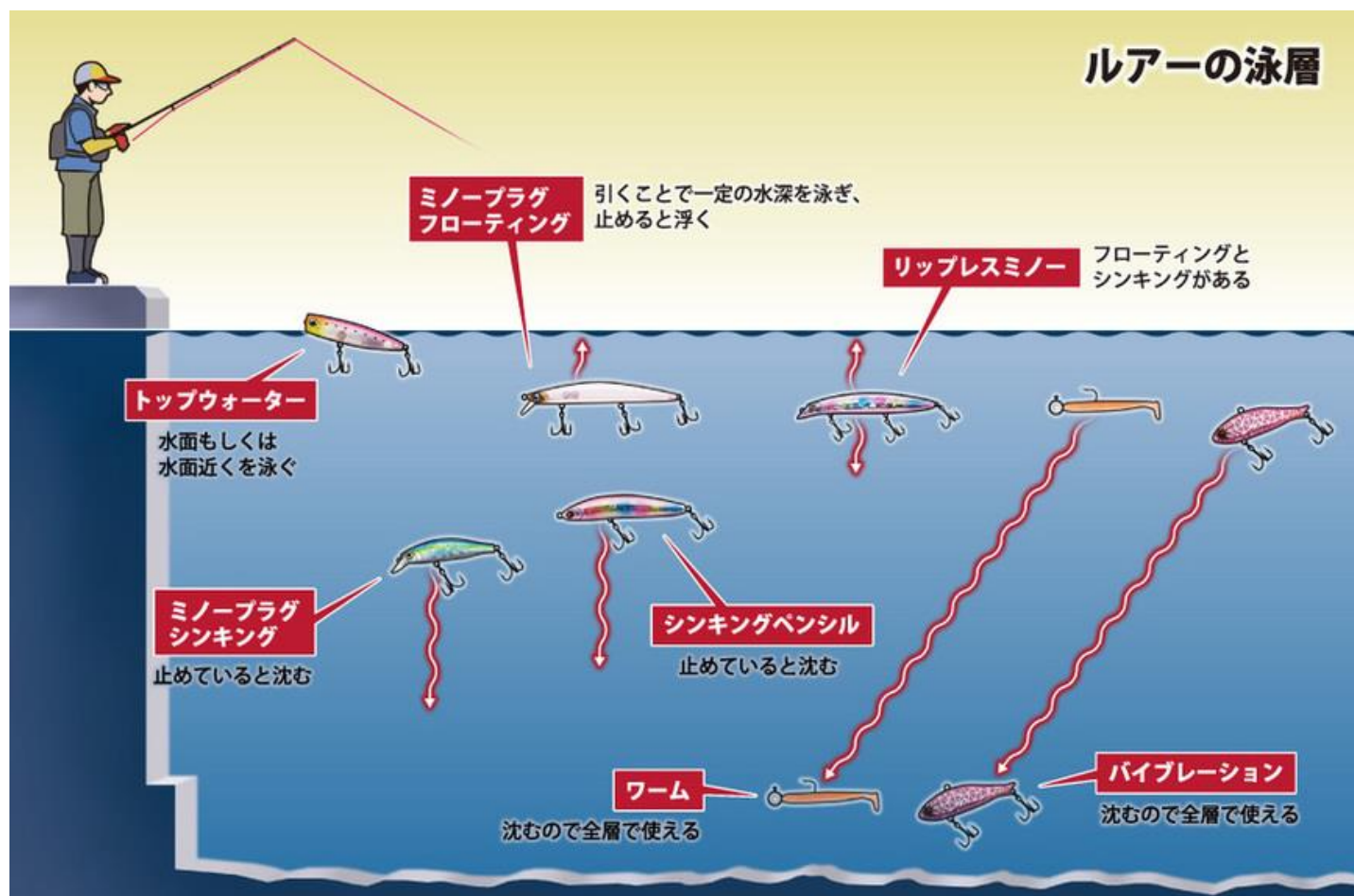
ビッグベイト

	サイズ・アクション共に大きなルアー。アピール力が高く、遠くのシーバス
	を寄せる事も可能。

ジグヘッド&ワーム

	オモリ付きの針であるジグヘッドにワームを取り付けたルアー。
	ナチュラルなアクションが可能で、食い渋ったシーバスに有効

シーバスで使えるルアーの泳層



まとめ

冒頭のルアーフィッシング紹介にも記載したように今回ご紹介した以外にも様々なルアーフィッシングがあり、それぞれに専用ルアーがあり、専用ロッドがあり、適合したルアーや糸が存在しています。多すぎて全て覚える事は不可能に感じますが、基本的には「バスルアー」を覚えると、他はその応用で覚える事が出来ます。また、今回は軽く程度にしか触れませんでしたでしたが、「専用ロッド」も見分けが出来るようになってきます。例えば、バスロッドは適合ルアーの重さが「oz(オンス)」表示です。ロッドの長さや硬さの種類も覚えると、見ただけで何用かの判別が出来るようになってきます。

今回はルアーをメインに資料を作成しましたので、まずはブラックバス用のルアーと泳ぐ層、使い方を覚えて頂き、そこから他の魚種用ルアーへと知識を深めて頂ければと思います。

■プライスルール

釣り竿(ロッド)

- 1,000円～3,000円未満の安価品は、下げ札プライスをロックスで一番大きい元ガイドに付ける
※900円以下は、下げ札またはラベラー。ラベラーはブランクスに直接貼る
- 3,000円以上は印字プライス(小)に穴をあけてロックスで一番大きい元ガイドに付ける
商品説明欄は 竿の種類・特徴・スペックなど 備考欄は個々の状態を記載する

例) 説明欄 5～10gを中心とするメタルジグモデル。

備考 トップガイドに補修痕があります。

下げ札プライスの記載方法

1行目(ジャンル):12

2行目:竿の種類

海釣り船用 : 船竿 マダイロッド(竿) イカ竿 カワハギロッド(竿) ライトタックルロッド オフショアロッド
ジギングロッド タイラバロッド キャスティングロッド
海釣り用 : 磯竿 投げ竿 五目竿 ショアジギングロッド シーバスロッド エギングロッド タイラバロッド
メバルロッド アジングロッド ライトジギングロッド SLJロッド(スーパーライトジギング)
湖・川釣り用: 鮎竿 溪流竿 へら竿 鯉竿 ワカサギ竿 のべ竿 バスロッド スピニングロッド ベイトロッド
ルアーロッド フライロッド トラウトロッド エリアトラウトロッド 溪流ルアーロッド 鯰ロッド

3行目:竿の主なスペック

船竿:(オモリ負荷(号)ー竿の長さ)を記載。例)120号-180、50-240など ※180は1.8mの意味

磯竿:(号数ー竿の長さ)を記載。例)1.5-540、3号-3.6m、5号-450など

ルアーロッド:(ロッドの型式または全長、アクション)を記載。例)602L、702ML、6'0" ML、7.2ft M

※基本的にルアーロッドには 型式・全長・適合ルアーウエイト・適合ライン の記載があります。



■プライスルール

リール

- 1,000円～3,000円未満の安価品は、下げ札プライスをロックスで付ける

- ・スピニングリールはリールフットの下にロックスを2重に巻き付けてプライスをつける
- ・ベイトリール・リール船はレベルワインダーまたはリールフットにロックスを通してプライスをつける
- ※バールアームに付けると、リールをまわした時にプライスも一緒に回って取れてしまう
- ・フライリールはボディの穴にロックスを通してプライスをつける

※900円以下は、下げ札またはラベラー。ラベラーはリールフット面に直接貼る

- 3,000円以上は、Gケースに入れ印字プライス(小)で統一する。

商品説明欄は リールの種類・特徴・スベツなクなど 備考欄は個々の状態を記載する

例) 説明欄 エリアトラウトやアジングに最適！ 軽量180g

ハンドル1巻き108cm 超ハイスピードモデル。

備考 巻き感に、少しガリ感があります。

スプールエッジにキズあり

下げ札プライスの記載方法

1行目ジャンル:12

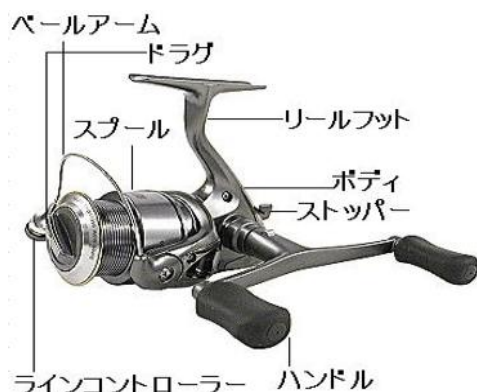
2行目:リールの種類

海つり船用 : 船リール 電動リール

その他 : スピニングリール ベイトリール フライリール ワカサギリール チヌリール 筏(イカダ)リール

3行目:リールのモデル名

例) バスワンTX バイオマスター3000 カルディアKIX1500 船150など



その他生産時の注意事項

※スピニングリールのライン(糸)は絡まないようにテープで止める。1万円以上はラインを抜く。

※ラインの抜き方はゼロエミ動画「OH012 釣具の生産(リールライン巻き取り編)」を参照してください。

オフハウスマニュアル【釣具】

一般展示用の時(外だし)



Gケースに入れる場合



オフハウスマニュアル【釣具】

ルアー

- OPヘッダー袋の右上にラベラーを貼る

ルアーの生産方法

- ・OPヘッダー袋 大・小 の2種類で統一。ルアーの向きは左向きになるように統一する
※OPヘッダー袋(小)は下ギリギリで折り返す。OPヘッダー袋(大)は半分で折り返す。
※フックが錆びている場合はニッパー等で外します。またアイリングに糸がついていたらハサミで切り取ります。
- ・展示はフックに吊るすので針をマスキングテープなどで巻く必要はありません。見栄えも悪くなります。
※逆にボックスに入れるとマスキングしていてもガチャガチャと探すので危険です。
- ・その他、アクセサリー小物もルアー同様です。



仕掛け類

- ラベラーで直接商品に貼る。仕掛けのスペック等に重ならないように気を付けて貼る

※ラベラー位置は、仕掛けの針サイズや糸の太さ、魚種の記載を避けて貼ります。

これが見えないと売れなかったり、ラベラーをはがされてしまいます。

仕掛け類は **仕掛け** ラベルを貼ったボックス(NF13)を作り入れる

その他の釣り具用品

- ・クーラーボックス

プライスは什器の最上段でもプライスが見えるようにするために印字プライス(大)で統一

- ・ロッドホルダー(竿受け)

第一精工 ラークとダイワ パワーホルダーが人気商品。下げ札プライスをロックスで付ける